

「NHKドラマ・ガイド 連続テレビ小説 虎に翼 Part1」PR掲載より

時代に合わせて広がるフィールド

弁護士という 仕事



時代に合わせて広がるフィールド

弁護士という仕事

弁護士といえば裁判、というイメージが強いかもしれませんが。
しかし時代とともに弁護士が活躍するフィールドは広がっています。

学校や大学で 教育に貢献する

いじめや事故などの問題を第三者委員として調査・提言したり、スクールロイヤーとして学校に関わることもあります。大学や法科大学院で講義や研究をする人もいます。

国・地方公共団体で 社会の仕組みをつくる

国の各省庁で法律案を、都道府県や市町村の役所で条例案をつくったり、チェックしたりします。職員が仕事上で直面する法的な疑問へのアドバイスなどもします。

企業で ビジネスを支える

企業に所属して企業法務に取り組むインハウスロイヤーもたくさんいます。知的財産を守る、企業の労働環境を改善するなど、さまざまな課題に対応しています。

国連など 国際機関の一員に

憲法や法律が整っていない外国で人権が守られる制度づくりに携わったり、国連に派遣されて、世界の状況の調査をしたり、人権問題などについて意見表明をしたりします。



法律の専門家として
好きなことに携わる

例えばゲーム会社を想像してください。ゲームソフトを制作するにはクリエイターと委託やライセンスに関する契約が、また完成したソフトをユーザーが使用する際には利用条件に関する契約が必要で、そこには数多くの法律が関係します。そこで活躍するのが弁護士です。ゲームソフトはつくれなくても、法

※上図はあくまで一例であり、実際にはさらに多くのフィールドがあります。

律のスペシャリストとして、トラブルを防いだり、クリエイターの才能を守ったりすることで、ゲーム業界に貢献することができます。スポーツや自動車、ファッションなど自分が興味や関心をもつ分野に携わり、あなたの「好き」を生かせるのが弁護士という仕事です。

**裁判だけじゃない！
広がる活躍のフィールド**



弁護士の職場は法律事務所や裁判所だけではありません。働き方のスタイルやフィールドも、時代の変化とともに多様になっています。上図のように、さまざまな組織や場所で働く弁護士も珍しくありません。また、弁護士から裁判官や検察官になって活躍する人もいます*。

働く場所が違っても共通する点があります。それは会社や団体、人の「権利」を扱うということ。権利を守り、社会正義を実現するために弁護士は全力を尽くします。

*NHK連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルは三淵嘉子さん。日本初の女性弁護士のひとりで、のちに裁判官になりました。現在も、弁護士を一定期間経験したあとに裁判官や検察官になる「弁護士任官制度」があります。

教えて!

〈突撃インタビュー〉

弁護士のリアルWORK&LIFE



弁護士・長瀬恵利子さんの場合

PROFILE / 法科大学院で学び、2015年に弁護士登録。企業の顧問弁護士を務めながら、個人の問題、例えば借金や不動産賃貸のトラブル、相続、離婚、労働問題など、オールラウンドに弁護士活動を展開しています。学校に向き、法教育の出前授業も行っています。

Q

弁護士になろうと思った理由は?

A もともと弁護士になろうと思っていたわけではなく、大学も社会学系の学部に進学しました。大学生活でいろいろな人と接する中で、自分は人と接することが好きで、人の笑顔につながる仕事をしたいという気持ちが強くなりました。父が司法書士で法律に関わる仕事を身近に感じていたこともあって、私も法律を学び、それを生かして困っている人の力になりたいと弁護士を志しました。

Q

長瀬さんの1日の過ごし方を教えてください。

A 朝10時ごろから仕事を始めることが多いですが、仕事の内容や場所は日によって異なります。裁判のほか、法律事務所で相談や書類作成などをしますが、自宅でテレワークをすることもあります。夕方、仕事を終えたあと、週に一度は教室に通ってヒップホップダンスを楽しんでいます。弁護士の仕事にもオンラインが普及し、仕事の時間や場所、休みなども自分で調整できるので、仕事とプライベートの両立もしやすいです。



Q

どんな時にやりがいを感じますか?

A トラブルの解決方法にはいろいろな形があり、難しさを感じることも少なくはありません。でも最初は辛そうだった方が、最後には笑顔で「先生に頼んでよかった」と言ってくださると弁護士になってよかったと強く思います。中高生向けの出前授業では、恋人への暴力(デートDV)について話すことがあります。生徒から「人を傷つけないようにしたい」といった感想をもらえたときは、思いが伝わったと感じてうれしいです。

Q

これから弁護士を目指す方へメッセージをお願いします。

A 弁護士は働きやすい職業です。取り扱うことができる分野が広く、自分の頑張り次第で活躍の場を広げられます。女性だと出産などでのキャリアへの不安もあると思いますが、弁護士であれば自分の裁量で働き続けられます。実際に女性弁護士は年々増えています。法教育に関わったり、活動を通じて社会の課題を改善していくこともできます。「弁護士になりたい」という気持ちを大切に、目の前にある課題にしっかりと取り組んでください。それは弁護士の仕事でも生かされます。ぜひ頑張りてください。

弁護士の仕事がよくわかる! 日本弁護士連合会のウェブサイト

<https://www.nichibenren.or.jp/>

•「弁護士を知る」

社会における弁護士の役割、弁護士になるまでの道のり、各種統計資料など、弁護士の仕事がよくわかる情報が満載です。



•「もっと知りたい弁護士の世界」



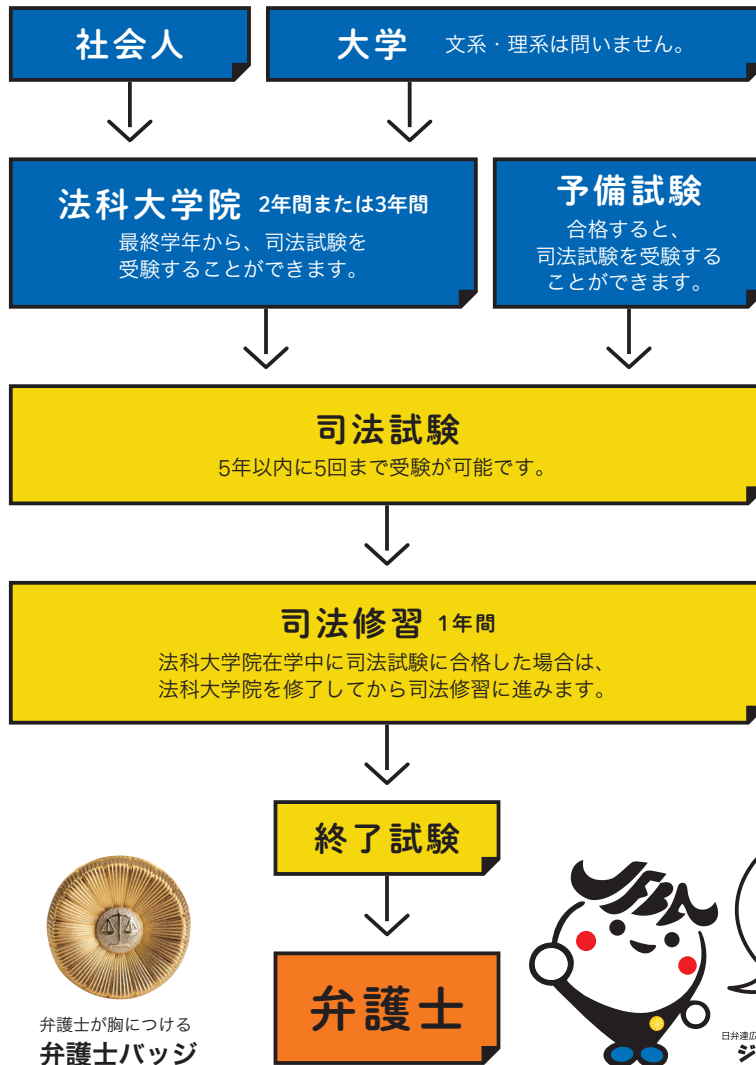
19人の弁護士が考える自分の使命、仕事と暮らしのバランスとは? 読めば、弁護士の仕事をもっと身近に感じられるインタビュー記事。





弁護士になるための道のり

*こちらでも詳しく紹介しています⇒



弁護士が胸につける
弁護士バッジ



日弁連広報キャラクター
ジャバ

弁護士バッジの外側の「ひまわり」は正義と自由を、中央の「はかり」は公正と平等を追い求めることを表しているよ。

弁護士に会って、いろいろな話を聞いてみよう

①「弁護士による課外授業」(小・中学生向け)

弁護士の仕事や裁判の仕組みなどについて、弁護士から話を聞くことができます。

詳しくはこちらから⇒



②「弁護士に会ってみよう!」(主に高校生・大学生向け)

弁護士の仕事や活躍の場などについての話のほか、弁護士に質問もできます。

詳しくはこちらから⇒



※個人でのお申し込みは受け付けていません。団体でお申し込みください。